



~100万人のキャンドルナイト~

夏至の日、6月21日夜、8時から10時の2時間、
みんなていっせいに電気を消しましょう。

ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげる
のもいいでしょう。

しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。

ある人は省エネを、ある人は平利を、

ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとの
ことを思いながら。



プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。

それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、文明のもっと大きな可能性を発見するプロセス
であると考える。

一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、**ただ2時間、てんきを消すこと**で、ゆるやかにつながっていく
「くらやみのウェーブ」を地球上にひろげていきませんか。

呼びかけが呼びかけの輪を広げ、はじまりました。

2001年5月。景気をよくするために、どんどん原子力発電所を作ってどんどん電気を供給しよう、
というブッシュのエネルギー政策に反対してカナダで「自主停電運動」が起こりました。

この流れに参加した辻信一とナマケモノ倶楽部はその後、毎月『カフェスロー』で「暗闇カフェ」
を催すことにしました。

さらに2002年10月、辻信一は、縁あって知り合った、有機食材宅配のパイオニア「大地を守る会」
の会長である藤田和芳をこの環境文化運動へと誘い、大地を守る会は、会員に向けて「でん
きを消してキャンドルを」と呼びかけました。その後、大地を守る会に「久しぶりにゆっくり家
族と話した」「子どもと絵本を読んだ。子どもも喜んだ」と読んでいても楽しい感想が集まったの
で、これはもっとたくさんの人に呼びかけてもいいかもしれない、とふたりは考え、12月、さら
にまわりの人たちに声をかけ、一緒に名前をつけたり、キャッチフレーズを考えたり、呼びかけ
文や、でんきを消す日と時間を決めたり、最初の呼びかけ人を集めたりして、準備しました。

こうして2003年6月22日、100万人のキャンドルナイトは始まりました。

<http://www.candle-night.org/index.html>

親子すまいかた教室

まちの景色をつくりだす

監修:成城短期大学 大家亮子さん

ビルや建物だけがひしめきあったまちは、
歩いていても圧迫感があり、目に映る風景
は味気なく感じられます。ところが、少し
でも樹木が植えられていたり、色鮮やかな
草花の鉢が飾ってあったら、それだけで気
持ちはやわらぐのではないのでしょうか。こ
んな風に気持ちが変わるのは、緑が安ら
ぎを感じさせ、魅力的なまちの景色をつ
くりだすはたらきがあるためです。地形や
気候、風土、文化など、それぞれの地域に
ふさわしい緑が育つことによって、まちの
景色に独自の個性が
でてくるからです。他
の場所にはない美しい
景色は、自分たちのま
ちをいっそう好きに
なるきっかけにもな
ります。

住みやすい環境をつくる

人は昔から住まいや
まちをつくる時、上
手に緑の性質を利用していました。そのひ
とつに、防砂林や防風林があります。激し
く砂が舞飛ぶ地方や、強風がしばしば吹き
付ける地方の家の周りに厚い樹木の壁をつ
くり、砂や風の勢いをやわらげ、建物を守
ったのです。また、家の周りだけでなく、
開墾した田畑の周りにも防風林をつくり、
収穫物を守っている地方もあります。また、
厚い樹木の壁は、防火林としても広い地域
で利用されていました。これは火災の火が
周りに延焼することを防ぐ目的で植えられ
ました。

生きた樹は水分を多く含んでいるので、火
が出てこの防火林を越えることができず、

となりの建物に燃え移るのを防ぎます。
このような面積が大きな林ばかりでなく、
もっと小さな生け垣や庭木でも、住みやす
い環境をつくる工夫が行われています。
道路側の生け垣は騒音やほこりを少なくし
てくれますし、日が射す位置に植えた葉の
繁る樹木は、家の中に入る日射しの量を調
節してくれます。

生き物に必要な不可欠な緑

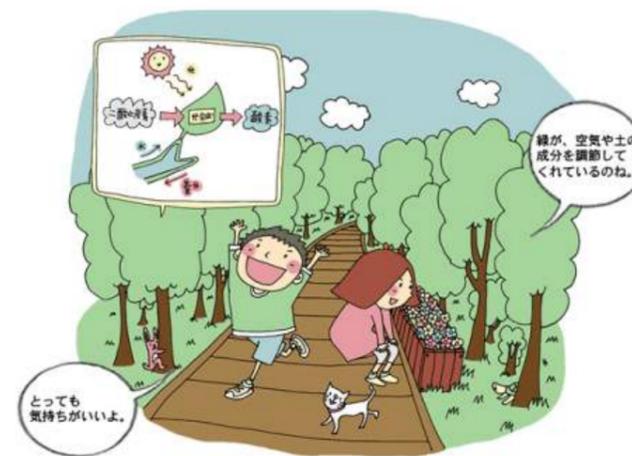
緑はわたしたちが生きていく上で、なくて
はならない酸素をつくり出し、わたしたち

が吐き出す二酸化炭
素を吸収している、
たいへん重要なパー
トナーなのです。

しかも、葉や根に蓄
えている水分は、空
気中の湿度・温度、
土中の水分を調整し
ており、人だけでは
なく生き物が活動し
やすい環境の源とい

える存在です。ですから、人が植物の緑を
見たり触れたりした時に、心が和んだり、
気持ちが落ち着いたりすることは、当然の
ことなのかも知れません。

森や林の中を散策したり、ゆっくり休養す
るときの気持ち良さ、野原で自由にかけま
わったり、木登りをする楽しさには、人工
的な場所では得られない充足感があります。
また、植物を育てたり、野菜をつくったり
している人どうしで、なにげない会話が生
まれてくることもあります。緑はコミュニ
ケーションしやすいまち、美しく住みやす
いまちをつくり出す一要素なのです。



瓦版6月号

～見学会報告～

5月19日(土)・20日(日)21日(月)の3日間、安曇野市三郷温にて秋山様邸完成見学会を開催致しました。今回は月曜日も開催させていただいたのですが、平日にもかかわらずたくさんのお客様にお越し頂き、3日間延べ、60組183名の方にご来場を頂きました。

白い壁にこげ茶の木の窓枠がアクセントのかわらしいお家に、ご来場のお客さまから「素敵～～！」という声をたくさんいただきました。内装も無垢材をたっぷり使った木の家に、お施主さまの選んだアイアン製品やステンドグラスが映え、こちらも大好評でした♪
次回は安曇野市穂高にて開催いたします。お楽しみに！



今後の完成見学会のお知らせ

7月7日(土)～9日(月) 安曇野市穂高 S様邸
8月下旬～9月上旬 朝日村 A様邸

☆詳細及び、最新情報は
木族の家ホームページで

木族の家 検索

家づくり記念日♪

坪単価よりも重要なお金の話があります

新しい家が欲しい、リフォームしたいと思った時、気になるのは坪単価。雑誌などでも「坪単価〇〇万」って出ていますから、それですべてがOKに感じますよね。もちろん問題なく進むことがほとんどですが、悲しいことに家具が買えない、引越代金考えていなかった！というケースを時々見聞します。そういう事態を避ける為にも、家づくりはファイナンシャルプランと資金計画からスタートすることがポイントです。ここがしっかりしていれば間違った住宅ローンを組むこともありません。銀行は、たくさん借りてもらいたいから「借りられる」金額を提示してきます。しかし借りられるMAXでローンを組んでしまうと、外食も

ギリギリの生活になってしまう可能性があるのです。安心&ゆとりローンにすると、希望よりも小さな家しか建てられなかったり、キッチンのランクを下げる必要が出てきます。でも家という箱が欲しいのではなく、sweethomeを求めているのならば、そこは家族会議を重ねて慎重に判断したい部分。家づくりにかかる総額(諸経費含む)と、自分たちが返済できる金額を理解すれば、購入すべき土地の単価、そして家の大きさや仕様が明確になってくるんです。家づくりはファイナンシャルプランからスタート！木族の家ではわかりやすく一覧表にして、ご説明しております。わからないこと、不安なことは何でも相談してくださいね。

ステキな読書

「おしまいのデート」瀬尾まいこ著

思い出の中に、暖かい食事風景がある人は幸せになれる。学生時代大騒ぎしたマックや、ドキドキしながら食べたGODIVAチョコレートなど、家族団らん以外でも思い出と食べ物はセットになっていることが多い。共働きが増え、一人で食事をする小学生も少なくない時代。最近のお惣菜は美味しいし、見栄えも良く栄養バランスも悪くないが、それでも高校生の三好は飽き飽きしていた。

お惣菜には何かが不足しているのだという。喧嘩ばかりしていた三好が、年老いた高校教師に蕎麦屋に誘われたのはイライラが頂点に達していた頃。小言を言うこともなく、何かアドバイスをするわけでもなく、ただただ玉子丼と一緒に食べた老教師と高校生。大切なことは何を食べるかではなく、誰と食べるかだということを改めて教えてくれるホッコリ系短編集。(集英社出版)

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
2012年	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	先負	仏滅	大安	赤口 地鎮上 棟吉日	先勝	友引 地鎮上 棟吉日	先負 地鎮上 棟吉日	仏滅	大安	赤口	先勝 地鎮祭 吉日	友引 地鎮上 棟吉日	先負	仏滅	すまい りんく 発行日	赤口 地鎮上 棟吉日	先勝	友引 地鎮上 棟吉日	先負	大安 地鎮祭 吉日	赤口 上棟 吉日	先勝 三階亡	友引 上棟 吉日	先負	仏滅	大安 地鎮上 棟吉日	赤口	先勝	友引	先負	仏滅